



(題字 小黒千足 学長)

第389号

(平成9年5月号)



▲ 附属図書館増築竣工記念式典：平成9年5月19日（月）
右下は竣工した附属図書館

目 次

関係法令	3	職員消息	
諸会議	3	◆ 住所変更	17
学 事		主要行事	17
◆ 平成9年度富山大学国際交流事業基金による各種事業の採択	4		
◆ 平成9年度富山大学国際交流後援会事業の採択	5		
人事異動	6		
学内諸報			
◆ 学生部長、地域共同研究センター長の改選	7		
◆ 叙勲	8		
◆ 名誉教授に称号授与	9		
◆ 附属図書館増築竣工記念式典を挙げる	12		
◆ 地域共同研究センター創設10周年記念式典を挙げる	13		
◆ 富山大学永年勤続者を表彰	14		
◆ 富山大学公開講座の実施計画	15		
◆ 海外渡航者	16		
◆ 外国人来訪者	16		

関 係 法 令

(省 令)

○日本育英会法施行令の規定による試験所，研究所又は
文教施設として指定した件（文部79）

（平9.5.2 官報第2129号）

○日本育英会法施行令の規定による試験所，研究所又は

文教施設として指定した件等の一部を改正する件（同
80）

（同上）

○平成9年度学校図書館司書教諭講習実施要項を定める
件（同97）

（平9.5.27 官報第2145号）

諸 会 議

第2回学生生活協議会（5月13日）

（審議事項）

- (1) 第42回（平成9年度）大学祭について
- (2) その他

第1回施設整備委員会（5月15日）

（審議事項）

- (1) 平成10年度国立学校施設整備費概算要求について

第2回部局長懇談会（5月16日）

（議 題）

- (1) 当面の諸問題について
- (2) その他

第3回評議会（5月16日）

（審議事項）

- (1) 平成10年度概算要求（案）について
- (2) その他

第2回日本海経済研究センター（仮称）設置準備委員会

（5月22日）

（審議事項）

- (1) 日本海経済研究センター（仮称）の設置目的，業
務内容等について
- (2) その他

第2回附属図書館商議会（5月22日）

（審議事項）

- (1) 平成9年度大型コレクション等の要求について
- (2) 特別図書購入費について
- (3) その他

第1回学寮委員会（5月23日）

（審議事項）

- (1) 寮生との話合いの実施について
- (2) 平成9年度負担割合について
- (3) その他

第1回防災委員会（5月26日）

（議 題）

- (1) 今後の防災委員会の進め方について
- (2) その他

第1回放射性同位元素委員会（5月27日）

（議 題）

- (1) 専門委員会の設置に^ついて
- (2) その他

第1回入学試験委員会（5月27日）

（審議事項）

- (1) 平成10年度入学者選抜試験の実施に伴う基本方針
（案）について
- (2) 平成10年度入学者選抜実施教科・科目等（案）に
ついて
- (3) 平成9年度入試等に関する情報提供について（案）
- (4) その他

第1回国際交流委員会（5月27日）

（審議事項）

- (1) 平成8年度富山大学国際交流事業基金決算につい
て
- (2) 平成9年度富山大学国際交流事業基金予算（案）
について

(3) 平成9年度富山大学国際交流事業基金各種事業の
選考について

第1回事務協議会(5月27日)

(議 題)

(4) 平成9年度富山大学国際交流後援会事業の選考に
ついて

当面の諸課題について

(5) その他



平成9年度富山大学国際交流事業基金による各種事業の採択

○ 第1種海外派遣事業(B)

部 局	職 名	氏 名	派 遣 期 間	訪 問 先	研 究 課 題
理 学 部	教 授	高木光司郎	9. 6.20~9. 6.26 (7日間)	シ カ ゴ 大 学 (ア メ リ カ)	レーザー分光学
工 学 部	助 教 授	長谷 博行	9. 8.15~9. 8.22 (8日間)	ウ ル ム 市 (ド イ ツ)	文書中の文字列抽出に関する研究
地域共同 研究セン ター	助 教 授	高辻 則夫	9. 8.16~9. 8.23 (8日間)	サ ド バ リ ー (カ ナ ダ)	中空押出し材の品質向上に関する研究
総合情報 処理セン ター	助 教 授	高井 正三	9. 9.29~9.10.10 (12日間)	マサチューセッツ工科大学 ボ ス ト ン 大 学 IBM マウント・プレザント・ インターナショナル・エグゼ クティブ・ブリーフィング・ センター スタンフォード大学 カリフォルニア大学バークレー校 (ア メ リ カ)	マルチメディア・データベース・シス テムの構築と活用技術の研究

○ 第2種外国人研究者招へい事業(B)

申 請 教 官			招 へ い 期 間	招 へ い 研 究 者		研 究 課 題
部 局	職 名	氏 名		氏 名	所 属 ・ 職	
人文学部	助 教 授	前川 要	9. 8.18~9. 8.22 (5日間)	Morris, Martin Norman (連合王国)	千葉大学工学部 講師	日英民家建築の比較考古 学的研究
理 学 部	教 授	内山 実	9.11.23~9.11.26 (4日間)	Gerrit Flik (オランダ)	ナイメーヘン大学 理学部 準教授	硬骨魚類におけるカルシ ウムならびにナトリウム 代謝

○ 第3種外国人留学生への奨学事業

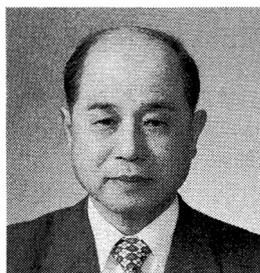
氏 名	性別	国 籍	学籍番号	所 属	学年
趙 大 我	男	中 国	9-5857	工学研究科（前期） 電子情報工学専攻	1
高 留 成	男	中 国	9-1614	人文科学研究科 地域文化研究専攻	1
蔣 曉 東	男	中 国	8-3156	経済学部 経済学科	2
王 林 仲	男	中 国	7-5134	工学部 電子情報工学科	3
王 丹	女	中 国	7-3157	経済学部 経済学科	3
楊 先 斌	男	台 湾	6-3334	経済学部 経営学科	4

平成9年度富山大学国際交流後援会事業（外国人留学生への宿舍費補助）の採択

氏 名	性別	国 籍	学籍番号	所 属	学年
鄭 賢 玉	女	中 国	7-3159	経済学部 経済学科	3
邵 運	男	中 国	8-3996	経済学研究科 地域・経済政策専攻	2
葛 欣	女	中 国	9-1082	人文学部 人文学科	1
肖 放	男	中 国	6-1076	人文学部 人文学科	4
黄 新 宇	男	中 国	7-1078	人文学部 人文学科	3

人 事 異 動

異動区分	発令年月日	氏 名	異 動 前 の 所 属 官 職	異 動 内 容
採 用	9. 5. 6	島先 厚至		事務補佐員（附属図書館情報サービス課）
	〃	大橋 正浩		〃（ 〃 ）
	〃	大岸 里美		〃（ 〃 ）
	〃	安部 公子		〃（ 〃 ）
	〃	高瀬 雅美		〃（ 〃 ）
	9. 5. 26	山口伊紀子		事務補佐員（人文学部・理学部）
併 任	9. 5. 2	鈴木 敏昭	教 授（人文学部）	人文学部長・評議員（～11. 5. 1）
	〃	中本 昌年	〃（ 〃 ）	評 議 員（～11. 5. 1）
	〃	小澤 浩	〃（ 〃 ）	〃（ 〃 ）
	〃	岡部 俊夫	〃（理学部）	〃（ 〃 ）
	〃	広岡 公夫	〃（ 〃 ）	〃（ 〃 ）
	9. 5. 9	能登谷久公	教 授（工学部）	学生部長・評議員（～11. 5. 8）
	9. 5. 21	池野 進	教 授（工学部）	地域共同研究センター長（～11. 5. 20）
	9. 6. 1	塚野 州一	教 授（教育学部）	評 議 員（～11. 5. 31）
	〃	山地 啓司	〃（ 〃 ）	〃（ 〃 ）
	〃	山淵 龍夫	〃（工学部）	〃（ 〃 ）
	〃	竹越 栄俊	〃（ 〃 ）	〃（ 〃 ）
育児休業	9. 5. 31	狐塚 佳子	理学部教務職員（数学科）	職務に復帰した

学 内 諸 報**〈学生部長に能登谷工学部教授を選出〉**

浜谷正人学生部長の任期が、平成9年5月8日で満了することに伴い、3月21日開催の評議会において、次期学生部長候補者の選考が行われました。

その結果、能登谷久公工学部教授が選出されました。任期は、平成9年5月9日から2年間

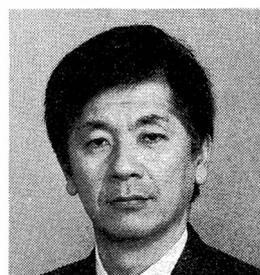
能登谷教授は、昭和36年3月富山大学工学部機械工学科を卒業後、同年4月富山大学工学部助手、同47年4月

同講師、同61年4月同助教授、平成3年4月同教授となり、現在に至っています。

専門は、生産システム工学。工学博士（東京工業大学）。富山県出身

（就任の抱負）

近年は個性の尊重と云うことで学生の大学に対する要求も多様化している。なるべく多くの学生との対話を通して提案された諸事項に対し、学生部を始め各部局の協力を得て適切に対処し、自由で魅力に富む学園環境の充実に努めたいと考えている。

地域共同研究センター長に池野工学部教授を再選

池野進地域共同研究センター長の任期が、平成9年5月20日で満了することに伴い、地域共同研究センター運営委員会は、次期センター長候補者の選考を行い、その結果、池野進工学部教授が再選されま

した。任期は、平成9年5月21日から2年間

池野教授は、昭和44年3月富山大学工学部を卒業後、同46年3月大阪大学大学院工学研究科修士課程を修了、同52年3月大阪大学大学院工学研究科後期課程を修了、同53年6月富山大学工学部助手、同62年9月同地域共同研究センター助教授、平成7年4月同工学部教授となり、同7年5月から地域共同研究センター長を併任され、現在に至っています。

専門は、材料物性工学。工学博士（大阪大学）。岡山県出身

（就任の抱負）

大学は、今大きな曲がり角に差し掛かっており、存続の命運を制する岐路に立たされています。ここで、大学の本来の使命と存在意義を見つめ直し、正しい方向を選択しなければなりません。大学が社会から遊離せず、社会と一体とならなければその存在価値はありません。

当センターは、これまで主に自然科学系の共同研究を通じて社会との連携を推進してきましたが、設立10年目を契機とし、これからはあらゆる分野を総合して社会との真の連携をプロモートし、21世紀に望まれる大学の確立に寄与したいと思います。

叙

勲

去る4月29日付けで、平成9年春の叙勲が発表され、本学関係では次の方が受章されました。

名誉教授（元富山大学長） 大井信一 勲二等旭日重光章



春の叙勲に際し、勲二等旭日重光章拝受の栄に浴しましたが、これも偏に各部署長をはじめ教職員各位のご指導ご支援の賜と深く感謝しております。

在職40有余年を顧み最も印象に残るものは、何と云っても工学部の移転問題であります。昭和39年来の懸案で各界各層の方々のお世話になり、紆余曲折を経て昭和58年3月解決を見た時は、工学部長任期満了を控え感無量でありました。

昭和60年6月学長に就任し、国際交流基金の設置に微力を尽くしたことが印象深い。遼寧大学との交流を始めるに当たり、その経費の手当が必要であった。県内各企業、卒業生及び教職員の協力をあおぐについて、事務局の全面的協力を得て目標を達成した。また、テクノポリス建設構想の推進に当たり、地域に開かれた大学として産学官交流、共同研究の足場として全国に先駆けて地域共同研究センターの設置を見て交流フォーラムがスタートしたことや、経済、人文の大学院設置及び工学部の大講座制への改組などは、当該学部の絶大なご協力によって実現をみたことで、受章に当たり、改めて深甚の謝意を表する次第であります。

名誉教授 塚島 寛 勲三等旭日中綬章



今度、勲三等旭日中綬章拝受の栄に浴し、誠に身に余る光栄と存じます。これは、偏に富山大学学長先生をはじめ皆様のお陰によるものと深く感謝しております。5月9日国立劇場において勲記と勲章の伝達をうけ、引き続き、新緑の皇居に参内し、春秋の間において、天皇陛下に拝謁し、ねぎらいと励ましの御言葉を賜り、誠に感激の極みでございました。今後は、この栄誉に恥じることはないよう、一層の精進をいたす所存でございます。

このたびの叙勲に際し、特に次のようなことを考えております。石炭の液化を進めてきましたが、世界の総人口は年々増加し、発展途上国も生活水準の向上、豊かさの追求には切実なものがああり、石油消費量は、増加する一方であります。さらに大気中への炭酸ガス排出量も問題であり、これらの困難な問題の解決が、速やかになされるよう常に願っております。

終わりに、富山大学の一層の御発展を、衷心よりお祈りします。

元文部事務官 辻澤彌八郎 勲七等瑞宝章



叙勲に際して

この度、平成9年春の叙勲に際し、勲七等瑞宝章を受章することになり、5月9日東京の国立劇場にて伝達を受け、その後、皇居豊明殿において天皇陛下に拝謁の栄に浴しました。

思い起こせば、昭和17年県青年学校教員養成所に奉職し、昭和56年退職までの永きにわたり無事に勤められましたのも、ひとえに先輩・同僚並びに後輩の皆様のお力添えの賜と心から感謝申し上げます。奉職中で特に心に残っていることは、学生運動の最中、図書閲覧のための図書館開館の一助となったことです。

私の退職から20年近くの歳月が過ぎ、最近の大学を取り巻く環境は定員削減や民営化問題等大変な時節と聞き及んでおります。

在職中の皆様におかれましては健康に留意し、より一層の御活躍をお祈り申し上げます。

最後になりましたが、今回の推薦に御尽力頂きました職員の方々に心から御礼申し上げます。

—— 新たに7氏が本学名誉教授 ——

名誉教授の称号授与される

本年3月末をもって退職されました奥田平八郎氏、提山淑郎氏、三寶政美氏（以上元人文学部教授）、吉田和夫氏、河野信弘氏、世利幹雄氏（以上元教育学部教授）、藤田宏氏（元工学部教授）の7氏に平9年4月18日付けで名誉教授の称号を授与することが決まり、去る5月9日（金）に小黑学長から称号記が授与されました。

以下に新名誉教授を紹介します。



名誉教授
奥田平八郎
東京大学大学院人文科学研究科修士課程修了
文学修士

同氏は、昭和31年3月東京大学大学院人文科学研究科修士課程を修了し、同31年4月金沢大学法文学部助手に採用され、同32年4月同大学法文学部講師、同36年5月同大学法文学部助教授、同39年4月清泉女子大学助教授、同45年4月同大学教授を経て、同49年4月富山大学教養部教授に就任し、同53年5月同大学人文学部教授に配置換となり、平成9年3月31日限り停年により退職されました。

同氏は、本学教官として着任以来23年の永きにわたり、教養部、人文学部語学文学科及び言語文化学科において英語及び英文学を担当し、常に厳正な教育姿勢のなかにも終始懇篤な温情をもって、学生の教育・指導に当たり、多数の優秀なる研究者、教育者を育成し、また、信頼し

うる人材を社会に送り出されました。

この間、学内においては、講座代表者会議の講座代表者として学部の充実・発展に貢献されました。

一方、学術研究面では、文学と愛の神秘を研究テーマとして、ロマン派の抒情詩及び物語詩の研究より出発し、その後、ロマン主義の研究を深めると共に、17世紀形而上詩、シェイクスピア、マロリー、14世紀神秘思想等へと研究を発展させた。ロマン主義においては、情熱が開放され、そこから遠いものへの憧れが生じ、最終的にイデアの世界への回帰に至ることを指摘した。また、古代ギリシャの哲学者プラトンのイデア論に代表される思想は、中世においては、神秘思想として発露し、近代においては、ロマン主義の超越世界への志向として顕現したことを証明し、その成果は高く評価されました。

また、学外においては、日本英文学会、同学会中部地方支部、日本中世英語英文学会及びイギリス・ロマン派学会に所属し、本学を会場として開催された昭和52年及び昭和61年の日本英文学会中部地方支部大会及び昭和60年の日本シェイクスピア学会など学会の開催に尽力されました。



名誉教授
提山淑郎
九州大学大学院文学研究科修士課程修了
文学修士

同氏は、昭和33年3月九州大学大学院文学研究科修士課程を修了後、同年5月北九州大学助手に採用、同34年10月同大学講師、同39年4月同大学教授となり、その後、同42年4月金沢大学教養部助教授に採用され、同46年4月山口大学教養部助教授を経て、同48年4月富山大学文

理学部教授に昇任し、同52年5月同大学文理学部改組により同大学人文学部教授に配置換となり、平成9年3月31日限り停年により退職されました。

同氏は、本学教官として着任以来24年の永きにわたり、文理学部文学科並びに人文学部語学文学科及び言語文化学科においてドイツ文学を担当し、常に厳正な姿勢のなかにも終始懇篤な温情をもって、学生の教育・指導に当たり、多数の優秀なる研究者、教育者を育成し、また、信頼しうる人材を社会に送りだされました。

この間、学内においては、構内交通対策委員会委員長、教務委員会委員などを歴任するとともに、平成3年5月から同5年5月までの2年間富山大学評議員として大学

の管理運営に参画し、大学並びに学部の充実・発展に多大なる貢献をされました。

一方、学術研究面では、一貫してドイツ演劇、特にルネサンス期以後のバロック、啓蒙主義、疾風怒涛を経て古典主義に至る時代のドイツ演劇を研究の対象に選び考察を行った。演劇が各時代の直接的な反映と据え、具体的に各時代の劇作家の作品を取り上げながら、英国、フランス、イタリア、スペイン等ヨーロッパ諸国の演劇の影響を考慮しつつ、哲学、宗教、文学との関連からドイ

名誉教授

三 寶 政 美

東北大学大学院文学研究科修士課程修了
文学修士

同氏は、昭和39年3月東北大学大学院文学研究科修士課程を修了、同42年3月同大学大学院博士課程を退学後、同42年4月東北大学文学部助手に採用になり、同44年4月秋田大学教育学部講師に昇任、同46年4月同大学教育学部助教授、同50年4月富山大学文理学部助教授に配置換、同52年5月同大学文理学部改組により同大学人文学部助教授に配置換となり、同年10月同大学人文学部教授に昇任し、平成9年3月31日付けで退職されました。

同氏は、本学教官として着任以来22年の永きにわたり、文理学部文学科並びに人文学部語学文学科及び国際文化学科において中国文学を担当し、常に厳正な教育姿勢の



名誉教授

吉 田 和 夫

富山大学文理学部文学科
卒業
文学士

同氏は、昭和29年3月富山大学文理学部文学科を卒業後、同年4月富山県公立学校教諭となり、同40年4月富山大学文理学部講師に採用され、同42年4月同大学教養部講師に配置換、同43年1月同大学教養部助教授、同51年10月同大学教養部教授に昇任し、平成5年4月同大学教育学部教授に配置換となり、平成9年3月31日限り停

止演劇の特性を明らかにし、その成果は高く評価されました。

また、学外においては、日本独文学会北陸支部長、日本ゲーテ協会評議員、日本ゲーテ協会富山支部常任幹事等を歴任され、日本独文学会北陸支部長として、昭和54年11月日本独文学会北陸支部総会並びに研究発表会、平成5年10月日本独文学会秋季研究発表会を開催されるなど、学会の発展に貢献されました。

なかにも終始懇篤な温情をもって、学生の教育・指導に当たり、多数の優秀なる研究者、教育者を育成し、また、信頼しうる人材を社会に送り出されました。

この間、学内においては、昭和60年5月から同62年5月まで富山大学評議員、同62年5月から平成3年5月までの2期4年間富山大学人文学部長として深い学識と高い見識をもって大学の管理運営に参画し、大学並びに学部の充実・発展に多大なる貢献をされました。

一方、学術研究面では、1920年代の中国文学を主に鲁迅を中心にしてその全体像を把握し、中国における鲁迅神格化等、鲁迅をある高みから論じるこれまでの風潮に対して、「悩める家長」をはじめとする著書・論文において、鲁迅を市井の人として実証した。このことは、鲁迅研究に新たな視点を与えるものとなり高く評価されました。

また、学外においては、教材用図書検定調査審議会調査員、高岡短期大学運営委員会専門委員会委員等を努め、高等学校及び短期大学の教育の充実に貢献されました。

年により退職されました。

この間、本学教官として32年の永きにわたり熱心に学生の教育・指導並びに研究に専念されました。

また、学内では、平成元年4月から平成5年3月まで富山大学評議員を併任され、富山大学の管理運営に貢献し、その発展に寄与されました。

研究面では、永年にわたって、英語教育・アメリカ文学・アメリカ研究の教育と研究に努められ、19世紀・20世紀のアメリカ小説、中でもユダヤ系作家バーナード・マラマッドの諸作品を研究し、学会で高い評価を得られました。昭和51年には、「ウォルト・ホイットマン」を、昭和54年には、「アメリカ大衆芸術物語」を共訳で刊行し、平成4年には普及書「アメリカン・ベストセラー」

を共同執筆し、学会・社会から高い評価を受けられました。中でも、同人が共訳で刊行した、ラッセル・ナイ著の「アメリカ大衆芸術物語」はアメリカ文化研究が今日の隆盛を迎える基礎となった基本資料であり、学会及び以後の研究の発展に多大な貢献をされました。



名誉教授

河野 信 弘

東京教育大学体育学部

体育学科卒業

体育学士

同氏は、昭和29年3月東京教育大学体育学部を卒業後、同年3月順天堂大学体育学部助手に採用され、同32年3月同大学講師、同39年5月同大学助教授、同56年2月同大学教授を経て、同56年4月富山大学教育学部教授に採用され、平成9年3月31日限り停年により退職されました。

この間、40年の永きにわたり、体育学における運動学、中でも体操・器械運動の教育・研究に努められ、学校体育における体操・器械運動の位置付けの向上に寄与され

一方、学外でも、アメリカ研究学会、日本アメリカ文学会、中部英文学会会員として活躍されるとともに、教育面では英語講読と演習に力点を置き、正確な表現と運用を常に目指し、自ら実践し範を示すことで、学生に多大な影響を与えられました。

ました。特に、体育科学としての運動方法学の確立の重要性を主張し、日本体育学会のもとに体育方法専門分科会を設立することに尽力し、分科会の中の日本体操競技研究会の会長として学校体育における器械運動から体操競技までの領域の研究に努め、研究誌を発刊するなど、この領域における研究の発展に多大の貢献をされました。

学内では、昭和61年4月から同63年3月まで富山大学保健管理センター所長を併任され、富山大学の学生・教職員の精神的・身体的健康を増進することに貢献し、富山大学の発展に寄与されました。

また、同氏は、昭和35年第15回国民体育大会体操競技の部では東京都一般男子チーム監督として団体優勝を果たし、昭和39年東京オリンピックでは、体操競技準備委員・競技委員・競技記録主任として、大会運営に寄与し、昭和41年には日本体操協会第一種公認審判員となるなど、体操競技の分野を中心に全国的に活動されました。



名誉教授

世 利 幹 雄

九州大学大学院経済学

研究科修士課程修了

経済学修士

同氏は、昭和31年3月九州大学経済学部卒業、同33年3月同大学大学院経済学研究科修士課程修了後、同34年9月福岡県公立学校教諭、同39年4月九州産業大学商学部講師、同40年4月同大学助教授を経て、昭和46年4月富山大学教養部助教授に採用され、同52年4月同大学教養部教授に昇任し、平成5年4月同大学教育学部教授に配置換えとなり、平成9年3月31日限り停年により退職されました。

この間、本学教官として着任以来26年の永きにわたり、社会統計学と理論経済学を担当し、常に厳正な教育姿勢のなかにも、終始懇篤な温情をもって学生の教育・指導並びに研究に専念されました。

研究面では社会統計学において、E.ワーゲマンの統計理論の究明を通してドイツ社会統計学の統計調査の理論史的究明と、G.マイヤーの統計理論の研究を行い、一方、経済学においてはマルクスの「資本論」、「経済学批判」等の研究に努められました。

学内では、昭和53年4月から同62年4月まで富山大学評議員に併任され、富山大学の管理運営に貢献し、その発展に寄与されました。

また、同人は永年富山大学体育会剣道部の部長・監督として熱心に学生を指導するなど、課外教育の面でも多大な貢献をされました。



名誉教授
藤田 宏
富山大学工学部電気工学科卒業
工学博士

同氏は、昭和29年3月富山大学工学部電気工学科を卒業後、同年4月株式会社明電舎に入社し、その後、同38年3月富山大学工学部助手、同41年4月同大学工学部講師、同42年4月同大学工学部助教授を経て、同49年4月同大学工学部教授に昇任され、平成9年3月31日限り停年により退職されました。また、昭和44年4月には、「誘導電動機の動特性算定電流線図法に関する研究」の研究論文により、東京都立大学より工学博士の学位を取得されました。

この間、本学において34年の永きにわたり電気機器学の担当教官として、常に温厚篤実な態度で学生の教育・指導に当たられ、多数の優秀な人材を育成されました。

研究面では、各種電動機の動特性の算定法を主体とした研究を行い、新しい算定手法を開発されました。また、リニア・アクチュエータに関する研究も行い、独自の構造のアクチュエータを考案し、その理論解析法及び設計法を開発されました。これらの研究成果は、数多くの研

究論文として発表され、学界や産業応用の発展に大きく寄与されました。

学内においては、昭和58年6月から同60年5月まで評議員、平成2年2月から同6年2月まで附属図書館長として大学の管理・運営に参画し、さらに同6年4月から同7年3月まで学科長を務めるなど、大学の発展・充実に多大なる貢献をされました。また、昭和55年と平成3年の2回にわたり文部省の教科用図書検定調査審議会調査員に任命され、教科用図書検定調査にも尽力されました。一方、学外においては、電気学会評議員、同編修企画委員、同論文委員会委員、同北陸支部長等の要職を歴任されるなど、学術の振興と地域の発展に寄与されました。



▲ 名誉教授称号記授与式

附属図書館増築竣工記念式典を挙行

附属図書館の増築工事がこのほど竣工し、去る5月19日(月)に新館2階(理工系雑誌情報室)で竣工記念式典を挙行了しました。

式典には、小黒学長をはじめ学内外関係者約80名が出席し、瀧澤附属図書館長の式辞、小黒学長の挨拶に続き文部省学術国際局学術情報課松岡課長補佐から祝辞がありました。

式典の後、施設見学があり、続いて祝賀会(黒田講堂会議室)が開かれ、西村名古屋工事事務所長の発声で乾杯し、竣工を祝いました。

増築された建物は、延床面積4,913㎡(6階)で、十分にスペースのある学習図書資料室・雑誌情報室・研究図書資料室、最新の情報機器を備えたマルチメディア研修室、また新たに保存・公開のために整備したヘルン(小泉八雲)文庫の特別室などがあり、快適な学習研究環境、貴重な資料の保存に留意するとともに、電子的な情報提供にも配慮した施設となっています。

また、大学では、今回の整備充実により一般市民の利用も増えることを期待しています。

地域共同研究センター「創設10周年記念式典」を挙

富山大学地域共同研究センターは、昭和62年5月全国の国立大学に先駆けて設置され、以来試行錯誤を重ねながらも着実に発展し、今年で10年が経過したことを機に、去る5月21日（水）富山市内のホテルで「創設10周年記念式典」を挙

式典には、小黒学長をはじめ、高等教育機関、富山県、富山市、企業等学内外関係者約250名が出席し、小黒学長の式辞、文部省学術国際局長（林研究助成課研究協力室長代読）、富山県知事、富山市長、同センター交流振興会会長の祝辞があり、功労者表彰、祝電披露がありました。

式典終了後、「21世紀のエネルギー」と題して記念講演（講師は北陸電力株式会社代表取締役副社長（原子力本部長））が行われ、講演終了後、環境問題を含め活発な質疑応答がありました。

引き続き、祝賀会が行われ、池野センター長の挨拶に続き、富山県経済同友会代表幹事のほか、県内工業会代表、公設試験研究機関代表から祝辞があり、宮下工学部長の乾杯により懇談に入り、和やかな雰囲気の中、過去10年の様々な思い出や今後のセンターへの期待などが熱心に語り合われ、お互いに熱い思いを胸に10周年を祝いました。



▲ 式典で式辞をのべる小黒学長

平成9年度

富山大学永年勤続者の表彰

—— 35年勤続 7名, 20年勤続 17名 ——

平成9年度富山大学永年勤続者表彰式が去る5月30日(金)午後3時30分から事務局大会議室において行われました。

表彰式には、各部局長をはじめ関係部課長等が列席し、35年勤続者及び20年勤続者一人一人に小黒学長から表彰状と記念品が贈られ、引き続き、小黒学長から祝辞がありました。これに対して被表彰者を代表して、工学部中川事務長から謝辞が述べられました。

閉式後、事務局中会議室において、永年勤続者を囲み祝賀会が開催され、田中教育学部長の乾杯から始まり、永年の労をねぎらわれるとともに和やかな雰囲気の中で終了しました。

なお、表彰された方々は、次のとおりです。

(20年勤続表彰)

事務局	文部事務官	大聖寺	一孝
〃	〃	新出	信幸
学生部	〃	本吉	友治
人文学部	文部教官	勝野	良一
〃	〃	神徳	昭甫
〃	文部事務官	小林	司
教育学部	文部教官	松井	政明
〃	〃	浅沼	照雄
〃	〃	清水	建次
〃	〃	辰巳	昭典
〃	〃	加藤	征江
〃	〃	宮崎	州弘
〃	〃	三浦	鏡子
〃	〃	山下	善路
〃	〃	平野	道子
〃	〃	吉川	真利子
〃	文部事務官	川上	重信
		以上	17名

(35年勤続表彰)

事務局	文部事務官	矢後	和子
学生部	文部事務官	廣田	浩
教育学部	文部教官	中井	学
理学部	文部教官	菅井	道三
工学部	文部教官	島崎	長一郎
〃	文部事務官	中川	巖
附属図書館	文部事務官	吉田	恵吉
		以上	7名



▲ 富山大学永年勤続者表彰記念撮影

平成9年度
富山大学公開講座

平成9年度富山大学公開講座として次の13講座が実施されます。

	講座名	開設日時	定員	講習料	申込期間	対象者	実施場所
教 養 講 座	富山発宇宙船地球号	5月31日～7月19日 土曜日 14時～15時30分 8回	30名	6,400円	5月12日～5月21日	市民一般	富山市 科学文化センター
	子どものアートと子育て入門	6月11日～7月2日 水曜日 19時～21時 4回	30名	5,400円	5月12日～6月3日	市民一般	富山大学教育学部
	法律と裁判の新しい動き	6月12日～7月17日 木曜日 18時～20時 6回	30名	6,400円	5月26日～6月4日	市民一般	富山大学黒田講堂
	女性学 男性学〔Ⅱ〕	6月16日～6月27日 月～金曜日 18時40分～20時10分 10回	50名	6,400円	5月26日～6月9日	市民一般	富山大学人文・社会 系共通教育棟
	正統と異端	6月28日～7月26日 土曜日 14時～17時 5回	30名	6,400円	6月9日～6月18日	市民一般	富山大学黒田講堂
	地球・環境・21世紀	8月23日～10月25日 土曜日 14時～16時 9回	50名	7,400円	7月28日～8月15日	市民一般	富山大学人文・社会 系共通教育棟
	現代に生きるこどもたち	9月3日～10月15日 10時～12時 7回	50名	6,400円	8月11日～8月26日	市民一般	富山大学人文・社会 系共通教育棟
	光と色の世界（体験講座）	7月31日 10時～17時 8月1日 10時～15時 2回	30名	無 料	6月16日～6月27日	中 学 生	富山大学工学部
健 康 ・ ス ポ ー ツ 講 座	腰痛・肩こりなどを通して、 自分のからだと対話する	6月7日～7月5日 土曜日 14時～15時30分 5回	40名	5,400円	5月19日～5月30日	市民一般	富山大学武道場
	健康・スポーツ教室 「硬式テニス（初心者） コース」	7月26日～7月30日 18時～21時 5回	20名	6,400円	7月7日～7月18日	市民一般	富山大学硬式テニス コート及び第1体育館
	健康・スポーツ教室 「ジョギング・ ランニングコース」	8月16日～8月30日 18時～20時（16・30日は 16時～20時） 8回	20名	7,400円	7月28日～8月8日	市民一般	空港スポーツ緑地 陸上競技場他
	健康・スポーツ教室 「硬式スポーツ（初級者） コース」	12月19日～12月23日 18時～21時 5回	20名	6,400円	12月1日～12月12日	市民一般	富山大学第1体育館
	親子スキー教室	1月23日～1月25日 3回	30組	6,400円	12月15日～1月14日	市民一般	牛岳スキー場

（注）各講座は、県民カレッジと連携講座になっています。（ただし、「光と色の世界（体験講座）」は除く）

問い合わせ先：富山大学生涯学習教育研究センター 〒930 富山市五福3190番地
TEL (0764) 45-6956

海外渡航者

渡航の種類	所属	職	氏名	渡航先国	目的	期間
外国出張	工学部	教授	岩城敏博	オーストリア	凝固過程における格子欠陥発生機構に関する研究	9. 5. 8 / 9. 6.19
	経済学部	教授	滝川敏明	アメリカ合衆国 カナダ	太平洋経済協力会議に出席, 研究発表, 研究打合せ, 資料収集	9. 5. 9 / 9. 5.18
	工学部	助手	島田邦雄	ドイツ	非線形電磁システム国際シンポジウムに出席	9. 5. 9 / 9. 5.15
	経済学部	教授	丹羽昇	大韓民国	江原大学校経営大学学術セミナーに出席	9. 5.26 / 9. 5.31
	〃	教授	水谷内徹也	大韓民国	江原大学校経営大学学術セミナーに出席	9. 5.26 / 9. 5.31
	工学部	教授	時澤貢	インドネシア	アルミニウム押出しに関する講演, 学術交流, 工場視察, 研究打合せ	9. 5.28 / 9. 6. 4
	地域共同研究センター	助教授	高辻則夫	インドネシア	アルミニウム押出しに関する講演, 学術交流, 工場視察, 研究打合せ	9. 5.28 / 9. 6. 4
海外研修	教育学部	教授	西川友之	大韓民国	光州市におけるバレーボール・イベントの普及及び経営に関する調査研究	9. 5.22 / 9. 5.26
	人文学部	教授	矢澤英一	中華人民共和国	中国演劇事情調査	9. 5.28 / 9. 6. 1
	教育学部	助教授	大森克史	フィリピン	ナビエ・ストークス方程式の理論と数値解析に関する国際会議に出席, 研究発表, 資料収集	9. 5.28 / 9. 6. 9

外国人来訪者

氏名 (国籍)	本国における 所属機関・職名	来学目的	本学受入先	期間
T. T. スハツキー (ポーランド)	ポーランド科学アカデミー 環境工学研究所 副所長・準教授	研究打合せ	工学部教授 熊澤英博	9. 5.26～9. 5.29

職 員 消 息

〈住所変更〉

部 局 名	官 職	氏 名
人 文 学 部	助 教 授	呉 人 惠
〃	助 教 授	宮 内 伸 子
教 育 学 部 (附属小学校)	教 諭	沼 崎 信 行
工 学 部	助 手	加 賀 谷 重 浩
附 属 図 書 館	文 部 事 務 官	藤 井 栄 吉

主 要 行 事

本 部

- 5月7日 東海北陸地区国立学校等施設担当部課長連絡会議（名古屋工事事務所）
第1回国際交流委員会留学生部会
就職に関する講演会
- 8日 東海北陸近畿地区学生厚生補導研究会総会（石川厚生年金会館）
- 9日 名誉教授称号記授与式
- 12日～13日 平成10年度大学入学者選抜大学入試センター試験の実施方法等に関する協議会（大学入試センター）
- 13日～16日 平成9年度国立学校等幹部職員研修（課長級）（国立青少年センター）
- 14日 富山県大学長懇話会
第33回12大学教養部長・事務長連絡会議（シテイ弘前ホテル）
- 15日 標準報酬等通知・給付請求事務手続等説明会（ホテル六華苑 金沢市）
- 15日～16日 平成9年度全国国立大学教養教育実施組織代表者会議及び事務協議会（仙台第2ワシントンホテル）

- 16日 国立大学事務局長会議（国立青少年センター）
産学就職問題懇談会（名鉄トヤマホテル）
構内一斉清掃
- 19日～20日 東海・北陸地区国立大学学生部部課長会議（呉竹荘 浜松市）
- 21日 第2回教養教育委員会企画専門委員会
文部省共済組合主管課長会議（フロラシオン 青山）
- 22日 国立学校等経理部課長会議（東京医科歯科大学）
- 23日 第1回国際交流委員会学術交流部会
- 27日 全国保健管理協会東海・北陸地方部会幹事会（名古屋大学）
第2回国際交流委員会留学生部会
- 28日 第1回自己点検評価委員会管理運営専門委員会
- 29日 第2回教養教育委員会管理運営専門委員会
第1回自己点検評価委員会研究活動等専門委員会
- 29日～6月1日
第42回大学祭
- 30日 第1回自己点検評価委員会教育活動専門委員会

永年勤続者表彰

14日 大学院経済学研究科委員会
教授会

各種委員選考委員会

21日 独立大学院博士課程設置に伴う合同打合せ会

22日 日本海経済研究所運営委員会

23日 期末・勤勉手当における役職段階別加算対象
職員を選考する小委員会

人 文 学 部

5月6日 学部学生生活委員会

7日 教授会

教授会（人事）

大学院人文科学研究科委員会

14日 予算委員会

21日 独立大学院（人文・経済合同）委員会

紀要委員会

23日 学部就職指導委員会

27日 予算委員会

28日 学部将来計画委員会

29日～30日 第46回国立17大学人文系学部長会議（岩手大
学）

教 育 学 部

5月7日 学部教務委員会

学部入学試験委員会

学部紀要編集委員会

8日～9日 日本教育大学協会臨時学長・学部長等連絡協
議会（東京学芸大学）

14日 学部学生生活委員会

教授会

16日 附属養護学校・附属中学校運動会

20日～21日 附属小学校教育研究発表会

22日 平成9年度日本教育大学協会北陸地区会評議
委員会（富山大学教育学部）

26日 学部紀要編集委員会

学部予算委員会

学部就職指導委員会

27日 学部防火対策委員会

28日 教育学研究科委員会小委員会

教育学部附属教育実践研究指導センター運営
委員会28日～30日 平成9年度春季全国国立大学教育学部長会議
（新潟大学）

経 済 学 部

5月9日 学部図書委員会

12日 学部教務委員会

理 学 部

5月6日 学科長会議

7日 学部情報化対策委員会

学部入試改善委員会

8日 学部教務委員会（持ち回り）

12日 理学部案内編纂委員会

14日 大学院理学研究科委員会

教授会

人事教授会

15日 学部学生生活委員会

21日 理学部案内編纂委員会

学部学生生活委員会

22日 理工学研究科設置準備委員会（仮称）理学部
会

学科長会議

27日 理工学研究科設置準備委員会（仮称）

28日 学部教務委員会

平成9年度国立14大学理学部事務長会議（鹿
児島大学）29日 平成9年度国立14大学理学部長会議（鹿
児島大学）

工 学 部

5月9日 学部施設整備委員会

学部就職指導委員会

工学部案内編集委員会

学部図書委員会

12日 外国人研究者との懇談会

学部国際交流委員会

13日 博士後期課程主任会議

入学試験検討委員会

14日 教授会

研究科委員会

博士後期課程委員会

- 学部運営委員会
- 16日～17日 電子情報通信学会MEとバイオサイバネティックス研究会（富山大学工学部）
- 22日 第47回国立大学工学部長会議・総会（秋田ビューホテル）
- 27日 理工学研究科設置準備委員会
- 28日 平成9年度北陸信越地区工学教育協会富山県支部評議員会・総会（富山大学工学部）
- 29日 学部教務委員会

附属図書館

- 5月19日 附属図書館増築竣工記念式典
- 27日 平成9年度国立大学附属図書館事務部課長会議（東京医科歯科大学）

水素同位体機能研究センター

- 5月6日 水素同位体機能研究センター運営委員会

地域共同研究センター

- 5月21日 地域共同研究センター創設10周年記念式典
- 30日 先端技術講演会

総合情報処理センター

5月29日～30日

パラレル・コンピューター利用講習会

保健管理センター

- 5月1日 学生定期健康診断（大学院）
- 2日 学生定期健康診断（大学院）
- 6日 学生定期健康診断（大学院）
- 7日 学生定期健康診断（人文・理学部）
- 8日 学生定期健康診断（X線間接撮影）
- 9日 学生定期健康診断（X線間接撮影）
- 12日 学生定期健康診断（X線間接撮影）
- 13日 学生定期健康診断（X線間接撮影）
- 14日 学生定期健康診断（経済学部）
- 15日 学生定期健康診断（X線間接撮影）
- 19日 学生定期健康診断（X線間接撮影）

編 集 富山大学庶務部庶務課
富山市五福3190
印刷所 あけぼの企画株式会社
富山市住吉町1丁目5-18
電話 (24)1755(代)